

1. インターバンク市場

12/7~11の無担保コールO/Nは、240兆円前後の当座預金残高を背景に、落ち着いた取引に終始した。週を通じて大手行からは0.075%、地銀・信託からは大玉条件で0.076~0.078%付近のビットが見られた。前週に引き続き、一部業態から試し取りが行われ、付利金利以上での出会いが散発的にみられたため、無担保コールO/N加重平均レートは0.07%台後半での推移となっていた。ターム物は週初より大手行からの1W物の調達のみ見られたほか、証券業態のロール案件が散見された。固定金利方式の共通担保オペは、9日に3M・15,000億円と11日に3M・15,000億円でオファーされた。応札額はそれぞれ10,400億円(期落ち分8,450億円)、8,150億円(期落ち分8,210億円)と、引き続き札割れとなった。

12/14~18のインターバンク市場は、主な資金需給要因として14日の源泉税揚げとTB3M発行超過、15日の年金定時払いが挙げられる。全体では大幅な余剰になることが見込まれ、来週末の日銀当座預金残高は240兆円台後半に達すると見られる。主要なイベントとしては、14日の12月調査の日銀短観、15日の11月の米国CPI、15~16日に開催されるFOMC、17~18日の金融政策決定会合などが挙げられる。特に、FOMCの結果が日本の金利に与える影響が注目される。

2. オープン市場

12/7~11の短国市場は、月中の短国買入オペや海外勢の動向等の不透明さから、様子見姿勢が続く展開となった。短国の入札は、8日に6M物、10日に3M物の入札が実施された。6M物の入札は、WI取引で特段の出会いが見られない中、平均落札利回▲0.0458%、按分落札利回▲0.0378%と強い結果になった。セカンダリーでは▲0.065~▲0.06%での出会いが見られた。3M物の入札は、WI取引では▲0.035%の取引が見られていたものの、月中の不透明感からか、結果は平均落札利回▲0.0353%、按分落札利回▲0.0221%と流れる結果となった。その後のセカンダリーでは▲0.02~▲0.015%と小甘い推移になった。また、10日の引けにかけては短国買入オペの実施を見込んで、6M物が▲0.095%まで買い進まれる場面も見られた。11日には短国買入オペが5,000億円でオファーされた。結果は先行きの見通しの不透明さもあり、平均落札利回較差、全取利回較差とも+0.041%の小甘い決着となった。

12/7~11のCP市場は、機械、電機、ノンバンク業態等から大型の発行が複数実施されたため、償還総額8,200億円程度に対し、発行総額は1兆500億円程度に膨らんだ。短期国債の運用難に因る投資家のCP購入ニーズや、今後の日銀オペを睨んだディーラーの在庫保有ニーズから、年越えの発行に対して強めの買いが入りやすい地合いとなっており、一部の銘柄に関しては0.01~0.03%台での決着も見られるなど、レート水準は全体的に低下した。レート水準については、銘柄間で相当乖離があるものの、a-1格銘柄の年内物で0.07~0.08%台半ば、年越え物で0.055~0.07%台前半程度が中心となっていた。

12/14~18の短国市場は、16日に1Y物、17日に3M物の入札が予定されている。年末を控えてレート水準が注目される。短国買入オペは週末の18日が金融政策決定会合と重なるため実施されない見通し。CP市場は、15日に5,500億円のCP買入オペが予定されている。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で1兆5,600億円程度の発行超見通し。財政等要因は、14日の源泉税揚げ、15日の年金定時払い等があり、5兆1,400億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で3兆5,800億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<14日>TB3M;償還45,700億円・発行48,000億円/流動性供給;発行5,000億円 <15日>TB2M;発行中止/2Y;償還10,700億円・発行25,000億円/個人向け3Y;償還200億円/個人向け3・5・10Y;発行700億円<17日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
12/14 (月)	△ 1,600	△ 5,600	△ 7,200	CP買入 社債買入 ETF買入	△ 300 △ 100		△ 200	△ 7,400
12/15 (火)	△ 2,000	53,000	51,000	全店共通(固) 国債買入 短国買入	△ 8,200	200 8,200 7,700 5,000	12,700	63,700
12/16 (水)	△ 3,000	1,000	△ 2,000	貸出増加支援	△ 500		△ 500	△ 2,500
12/17 (木)	△ 4,000	1,000	△ 3,000				0	△ 3,000
12/18 (金)	△ 5,000	2,000	△ 3,000	全店共通(固) CP買入	△ 9,200	5,500	△ 3,700	△ 6,700
週間合計	△ 15,600	51,400	35,800		△ 18,300	26,600	8,300	44,100

(注) 上表の12/14は日銀予想、12/15以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
12/14 (月)	12月調査の日銀短観(概要及び要旨、日銀 8:50) 10月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30) 10月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)		
12/15 (火)		5Y 25,000億円 12/21発行	交付税借入 10,500億円 12/24借入
12/16 (水)		TB1Y 25,000億円 12/21発行	米FOMC(1日目) 11月の米消費者物価指数 11月の英消費者物価指数
12/17 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~) 11月の貿易統計(財務省 8:50) 7~9月期の資金循環統計速報(日銀 8:50)	TB3M 48,000億円 12/21発行	米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 11月の米住宅着工件数 11月の米鉱工業生産・設備稼働率 11月のユーロ圏消費者物価指数改定値
12/18 (金)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30)		

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡りする書面や目論見書をよくお読みください。